

ちけん 治験管理室便り No.16

2019年2月

2019年第1弾の治験管理室便りです。

☆さて、今回のテーマは治験管理室便りNo.13でご好評いただきました「**治験責任医師**※インタビュー」と、
当院で実施した治験で実際に「**承認されたお薬**」の紹介です。



日本医師会治験促進センター
キャラクター ちけん君♪

※治験責任医師とは・・・

- ・病院内で治験全体を監督する役目を担う責任者です。
- ・治験を担当する医師やスタッフを指導します。
- ・患者さまの病気に関する専門家としての豊富な臨床経験、治験を適切に実施できる十分な治験の知識があります。
- ・全国の多くの医師の中から治験依頼者(製薬企業)によって選ばれた医師です。



☆製薬協ホームページから抜粋



治験責任医師インタビュー

先生にとって治験とは

治験とは、
日進月歩の医学の進歩を
患者さまにできるだけ早く届ける
必要不可欠なプロセスです。

治験をやっていて、よかったと思う瞬間は

それは、薬が承認された時ですね。



第一外来部長・呼吸器内科医長
上村医師へのインタビュー

当院で実施した治験で実際に承認されたお薬

気管支喘息患者さまのためのお薬

アニュイティエリプタ(100 μ g・200 μ g)

(治験実施期間:2014年4月7日～2015年7月8日)



COPD患者さまのためのお薬

レルベアエリプタ(100 μ g)

(治験実施期間:2014年3月1日～2015年10月31日)



治験に関する先生のメッセージ

お薬は、医療関係者と
ご協力いただいた患者さまとの
血と汗と涙の結晶です。

ひとつのお薬を世に出す為に、どれほどの手間暇がかかるか、一般の人にとって、なかなかわかりにくいと思います。しかしながら、どんなお薬にも外からは見えない、開発にまつわる苦労、秘められたドラマがあります。



世に出た新しいお薬はまさに医療者、製薬研究者、政府、そして何よりご協力いただいた患者さまの血と汗と涙の結晶ともいえます。

医学の進歩をみんなに還元する「治験」へのご理解・ご協力を今後とも宜しくお願いします。

上村先生ありがとうございました。
薬が世の中にでることは黒部の太陽のようにさまざまなドラマがあるんですね！
ここで、呼吸器内科にまつわる「なぞかけ」をしてみました。

整いました！！

『呼吸器科の薬とかけてダムと解きます。

そのころは、どちらも**せきとめる**でしょう。』

引き続き、皆様に治験についての情報等をわかりやすくお知らせしていきたいと考えております。
治験管理室便りを今後ともよろしく願いいたします♪

